

1) 下のと、中の〇つき数字と、右の指数字を、線でマッチング。  
2) なるへそ●と●と●とを結合ように指導。●が全体のシ  
ルシだからと説明。

a) それぞれの絵柄に付与されている数的な意味を想起してマッチングする課題。  
b) 数字は約束事である記号に過ぎないが、〇つき数字は〇によって数的な象徴性をもつ半記号ともなる。いすれウェートアウトする。

Date  
Note  
評

どれがどれか、  
せんでつなごう。

